

## 4 駐車場以外の広場はどうなるの？

- (1) 設計方針
- (2) 北側多目的広場
- (3) 南側多目的広場
- (4) 北側・南側交流広場
- (5) コミュニティ広場

## 4 駐車場以外の広場はどうなるの？ (1) 設計方針

### 【駐車場以外の広場の設計方針】

1	高架下空間を含め南北が一体的に利用できる	交流広場
2	地域の履歴を感じられる空間とする	交流広場 コミュニティ広場
3	日常的な人々の居場所や活動の舞台とする	交流広場 コミュニティ広場
4	自由度の高い空間とする	北側多目的広場 南側多目的広場



### 広場の設計方針

- ・1 高架下空間を含め南北が一体的に利用できること
- ・2 地域の履歴を感じられる空間とすること
- ・3 日常的な人々の居場所や活動の舞台とすること
- ・4 自由度の高い空間とすること

### 1-4の設計基準を踏まえた3種類の広場整備

- ・①交流広場 (黄色部分)
- ・②コミュニティ広場 (青色部分)
- ・③南北の多目的広場 (赤・緑色部分)

## 4 駐車場以外の広場はどうなるの？ (2) 北側多目的広場

### 【イベントなど多目的に使える広場】

1	通常時利用	<ul style="list-style-type: none"><li>・緑豊かな広場</li><li>・イベントなど様々な用途で多目的に利用</li></ul>
2	臨時的な利用	<ul style="list-style-type: none"><li>・イベント時の駐車場としても利用</li></ul>
3	表面的な処理	<ul style="list-style-type: none"><li>・グリーンインフラの指針に基づき、雨水が地下に浸透していくよう、芝生などを植栽するとともに、水が浸透しやすい構造の排水構造物を検討</li></ul>



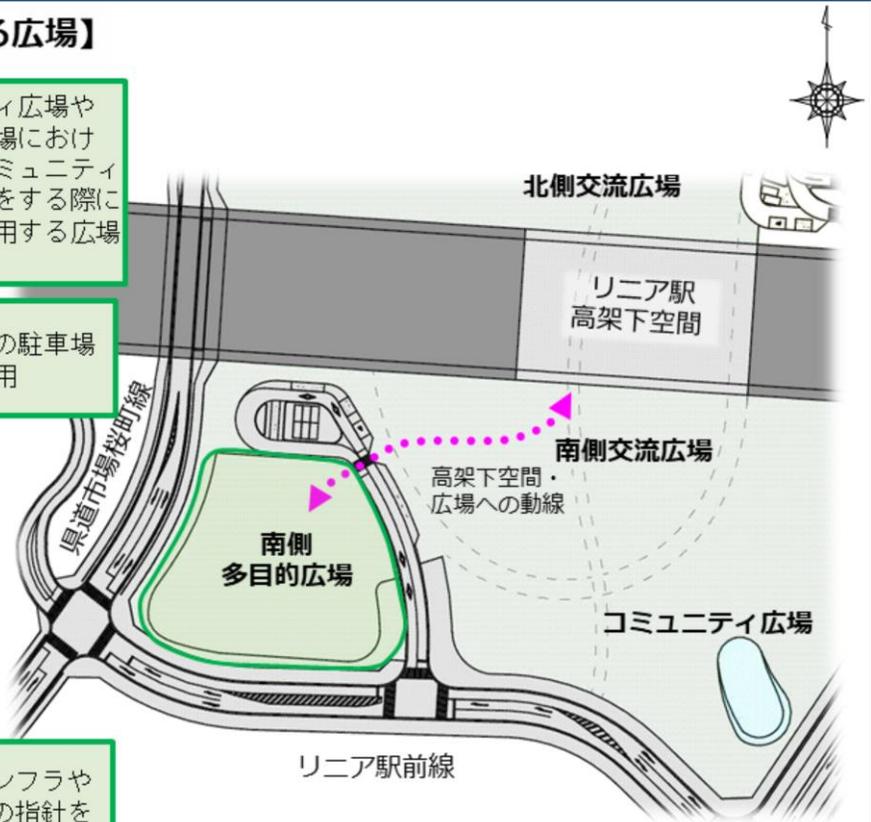
### 北側多目的広場

- ・約4,500㎡の広場(一般的な野球場のグラウンドの4割程度の広さ)。
- ・普段は芝生など緑豊かな広場として利用され、イベントなど多目的な利用もできます。
- ・イベントなどでは臨時駐車スペースとすることも想定しています。
- ・表面的な処理や仕上げはグリーンインフラの考え方に基づいて、芝を張るなど雨水が地下に浸透するようにし、側溝などの排水構造物もこの考え方に基づいた製品を検討します。

## 4 駐車場以外の広場はどうなるの？ (3) 南側多目的広場

### 【イベントなど多目的に使える広場】

1	通常時利用	・コミュニティ広場や南側交流広場における地域のコミュニティなどの取組をする際に連携して利用する広場として利用
2	臨時的な利用	・イベント時の駐車場としても利用
3	表面的な処理	・グリーンインフラや水引ラインの指針を踏まえた排水構造物を検討



### 南側多目的広場

- ・約7,000㎡の広場(一般的な野球場のグラウンドの6割程度の広さ)。
- ・普段は広場として利用し、地域のコミュニティなどの取り組みを行う際には、南側交流広場、コミュニティ広場も合わせた3つの広場を一体的に使用するなど、多目的に活用できる広場です。
- ・イベントなどでは臨時駐車スペースとすることも想定しています。
- ・表面的な処理や仕上げはグリーンインフラや水引ラインの考え方に基づいて、側溝などの排水構造物を検討します。

## 4 駐車場以外の広場はどうなるの？ (4) 北側・南側交流広場

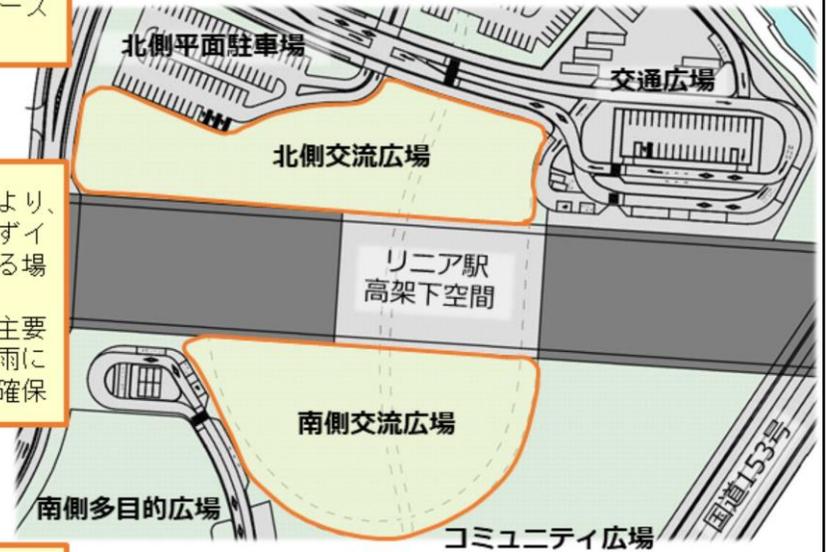
【天候に左右されずイベントなどにも利用できる交流広場】



1	オープン スペース	・獅子舞や人形劇をはじめとする様々なイベントも行えるようなオープンスペースを確保
---	--------------	--

2	全天候型 バリアフリー	・木造の大屋根により、天候に左右されずイベントを楽しめる場所を確保 ・木造の大屋根を主要な箇所へ配置し雨に濡れない動線を確保
---	----------------	---

3	木造の大屋根	・直径最大15mの大屋根を3基組み合わせ、広いイベントスペースを確保
---	--------	------------------------------------



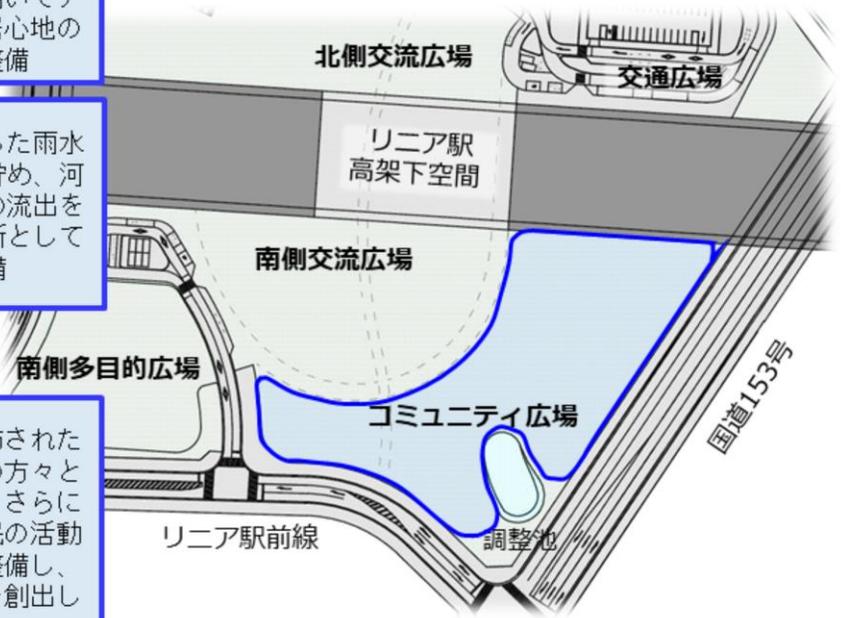
### 交流広場

- ・リニア駅の高架下空間を挟んで南北に広がる広場。北側・南側を合わせて約15,000㎡(甲子園球場のグラウンドくらいの広さ)。
- ・獅子舞や人形劇をはじめとする様々なイベントも行えるようなオープンスペースを確保します。
- ・木造の大屋根を主要な箇所に配置し、「全天候型バリアフリー」により、天候にかかわらずいつでもイベントを楽しめる場所を確保します。
- ・直径最大15mの木造の大屋根を3基組み合わせることで、広いイベントスペースが確保できます。

## 4 駐車場以外の広場はどうなるの？ (5) コミュニティ広場

【地域のコミュニティや家族の憩いの場として活用できる多目的な広場】

1	表面的な仕上げ	<ul style="list-style-type: none"><li>・グリーンインフラや水引ラインのデザインを用い、張芝や透水性のあるブロック等の材料を用いてデザインし、居心地のよい空間を整備</li></ul>
2	調整池	<ul style="list-style-type: none"><li>・広場内に降った雨水を一時的に貯め、河川への雨水の流出を調整する場所として調整池を整備</li></ul>
3	交流の場	<ul style="list-style-type: none"><li>・リニアで来訪された方々と地域の方々との交流の場、さらには地域や市民の活動の場として整備し、様々な交流を創出します。</li></ul>



### コミュニティ広場

- ・約9,000㎡の広場(一般的な野球場のグラウンドの8割程度の広さ)。
- ・表面的な処理や仕上げは、南北の多目的広場と同様、グリーンインフラや水引ラインの考え方にに基づき、芝生や透水性のあるブロックなどを用いながら、居心地のよい空間にします。
- ・広場内に降った雨が一度に大量に川へ流れ出ないように、雨水を溜めつつ量を調整しながら排水する機能を持つ「調整池」を設置します。
- ・県内外さらには世界の人々と市民や地域とのふれあいの場として、様々な交流を創出する広場となります。